

群馬交響楽団

上田公演-2018秋-

2018年

10月28日(日)

15:00開演(14:15開場)

サントミュージゼ 大ホール
(上田市交流文化芸術センター)

— Program —

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18*

Sergey Rachmaninov/ Piano Concerto No. 2 in C Minor, Op. 18

ラフマニノフ

交響曲 第3番 イ短調 作品44

Sergey Rachmaninov/ Symphony No. 3 in A Minor, Op. 44

※曲目は変更になる場合があります。

ロシア音楽の色彩 ラフマニノフの世界



指揮
秋山和慶
Conductor
Kazuyoshi Akiyama

Ticket チケット発売 7月7日(土)10:00~

全席指定・税込

S席 4,500円 (U-25 S席2,000円)

A席 3,500円 (U-25 A席1,500円)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※2歳以上の未就学児に対して託児(無料)の予約を承ります。

ご希望の場合は10月14日(日)までにお申込みください。

※U-25(公演日時点25歳以下)チケットはサントミュージゼ窓口のみの取り扱いとなります。

購入時、入場時に生年月日が確認できる証明書をご持参ください。

プレイガイド

◎サントミュージゼ

・窓口 (9:00~19:00) ※休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)

・インターネットチケット予約 (会員登録無料)

<https://www.santomyuze.com/theater-hall/ticket/>

◎平安堂 (上田店/上田しおだ野店/佐久インターウェブ店)

◎ながの東急百貨店プレイガイド

◎チケットぴあ TEL:0570-02-9999 (Pコード:122-952)



*ピアノ

ルーカス・ゲニューシヤス

Piano

Lukas Geniušas

© Evgenij Evtiukhin

主催

上田市(上田市交流文化芸術センター)

上田市教育委員会

助成

文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

サントミュージゼ
UEDA SANTOMYUZE



ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

Piano Concerto No.2 in C Minor, Op. 18

交響曲 第3番 イ短調 作品44

Symphony No.3 in A Minor, Op. 44

指揮 秋山 和慶

Conductor/Kazuyoshi Akiyama

1941年生まれ。アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督、東京響音楽監督・常任指揮者、大阪フィル首席指揮者、札幌響首席指揮者／ミュージック・アドバイザーを歴任。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞中国文化賞(広島)をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞を受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出、また中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、洗足学園音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

ピアノ ルーカス・ゲニューシャス

Piano/Lukas Geniušas

1990年モスクワ生まれ。モスクワ音楽院の教授でもあった高名な祖母のヴェーラ・ゴルノスターエワにも学んで大きな影響を受け、ジーナ・バックウアー国際コンクールで優勝。2010年にはショパン国際コンクール2位、15年のチャイコフスキー国際コンクールでも2位と、主要コンクールで輝かしい成績を収めている。

ゲルギエフ、プレトニョフ、ソビエフ、ラザレフ、デュトワらの指揮のもと、ハンブルク響、ロシア・ナショナル管、サンクトペテルブルク・フィル、クレメラータ・バルティカ、ワルシャワ・フィル、BBCスコティッシュ響、N響、日本フィル、シンガポール響などと共演。ラインガウ音楽祭やルール・ピアノ・フェスティバル、ロッケンハンス音楽祭などの著名音楽祭や、世界中の主要ホールで演奏している。

バロックから現代曲まで探求心は尽きることがなく、レパートリーはチャイコフスキーやラフマニノフの協奏曲からヒンデミットまで極めて広大である。

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2017年度までに延べ634万人を超える児童・生徒が鑑賞した。2014年6月には定期演奏会が500回に達し、2015年11月には創立70周年を迎えた。群馬交響楽団は群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

1966年「朝日・明るい社会賞」、1983年文部大臣「地域文化功労者」団体表彰、1989年第11回山本有三記念「郷土文化賞」、1994年「日本文化デザイン賞」、1995年「第4回日本生活文化大賞特別賞」、2001年日本放送協会「関東甲信越 地域放送文化賞」受賞、2017年県民芸術祭40周年記念表彰。

渡辺 和彦
(音楽評論家)

21世紀に入ってから演奏される回数が激増しているラフマニノフの交響曲。その最後のものが第3番だ(1936年にアメリカ・フィラデルフィアで初演)。これは「保守的な作風の最後のロマンティスト作曲家」という古いラフマニノフ像だけではとらえきれない屈折した作風を持っている。その前に演奏されるのは、彼の代表作で最も人気のあるピアノ協奏曲のひとつ、第2番(1910年モスクワで初演)。日本音楽界で最も信頼、尊敬されるマエストロ秋山だけでなく、2010年ショパン国際コンクール2位のゲニューシャス(1990年モスクワ生まれ)のピアノにも注目。

お問い合わせ



上田市交流文化芸術センター

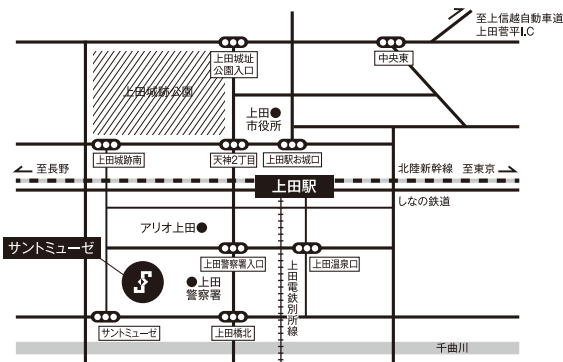
〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号

TEL 0268-27-2000

<https://www.santomyuze.com>

休館日 火曜日(火曜日が祝日にあたる場合は、その翌日)
12月29日から翌年1月3日まで

アクセス お車：上信越自動車道「上田菅平IC」より約15分。
電車：北陸新幹線・しなの鉄道・上田電鉄別所線「上田駅」より徒歩約7分。



無料駐車場390台(なるべく公共の交通機関をご利用ください。)

群馬交響楽団

上田公演

2018秋